

# 第8回伊賀市非核平和推進

市では、8月5日から2日間、市内の中学生10人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、市内の中学生一人ひとりが心をこめて折った千羽鶴を原爆の子の像へ捧げ、平和記念資料館の見学や平和記念式典への参加を通じて、非核平和への思いを新たにしました。  
参加した生徒のレポートから、核兵器のない平和な社会の実現に向けて、シロシマツの様子をお伝えします。

## 被爆体験講話



### ◆ 崇広中学校 斉藤 マキ

新宅さんという方から被爆体験講話を聞かせていただきました。お話の中で原爆が落ちて立ったまま丸こげになっていた人がいたというのを聞いて、原爆は一瞬ですべての物を奪ってしまっただと改めて感じました。

### ◆ 霊峰中学校 佐古 達哉

新宅さんから、お話を聞きました。背負っていたおばあさんが「ありがとう」と言っ、背中で亡くなった体験をされたそうです。原爆はこんなに言葉にならないくらいむなしいことをおこしてしまうと感じました。改めて原爆を使用するはいけないと思いました。

## 原爆ドーム

### ◆ 緑ヶ丘中学校 泰羅 真央

原爆ドームを見て、最初に違和感を感じました。それは、周りの景色は新しくなっ

ているのにそこだけ原爆が投下されたまま、時が止まっているかのような感じがします。それが原爆の恐ろしさを教えていると感じました。

## 原爆の子の像

### ◆ 島ヶ原中学校 山元 駿輔

原爆の子の像の前に、千羽鶴がたくさんさげられていました。よく見ると多くの都道府県や学校の名前がついていました。みんなそれだけ核兵器を持たない平和な世界を望んでいることがわかりました。



# 中学生広島派遣団レポート

## 平和記念資料館

◆城東中学校 田中 沙奈

広島平和記念資料館には、原爆投下時の写真や原爆の模型、被爆された方の所持品などが展示されていました。

当時の写真や、真っ黒こげになった弁当箱などを見て、改めて戦争は恐ろしいもので、絶対に起こしてはならないと思いました。

◆大山田中学校 西尾 司

広島記念式典では、世界中から多くの人に参加していて、みんなが平和を望んでいるのだとわかりました。

世界では、まだ核兵器を持っている国があります。二度と戦争が起こらないように自分のできることに取り組んでいきたいです。

## 広島市立舟入高等学校 演劇

◆柘植中学校 吉岡 倫也

私は、「はだしのゲン」を何度も読んだことがあります。「はだしのゲン」は、この劇の主人公である中沢さんの家族や原爆に対するたくさんの方の思いで作られました。私も大勢の人に原爆のことや平和の大切さを伝えたいです。

## 平和記念式典

◆上野南中学校 中川 真衣

原爆犠牲者の方々の冥福を祈る気持ちが、平和を願っていることや、今も苦しみを知らない人々がいることを知り、私たちが平和を守っていくかなければならないことを痛感しました。



◆青山中学校 川真田 竜将

「麦っこゲン」は、マンガ「はだしのゲン」の作者、中沢啓治さんの半生を描いたものでした。そこには、「生きろ、麦のように踏まれても、真っ直ぐのびろ。」という願いがこめられていました。自分も強く生きていきたいです。

【問い合わせ】 人権政策・男女共同参画課

☎ 47・12806 FAX 47・12808

